

## 記録：第 328 回海外邦人安全対策連絡協議会

11月10日「第328回海外邦人安全対策連絡協議会」を開催したところ、概要につき以下のとおり。今回もTV会議を利用しての開催となった。

### 1. 冒頭

(大使館総括公使)

先月の菅総理の当地訪問は、デモ活動の状況等が懸念されていたものの、無事に終えることができた。引き続き各地でデモが発生している状況であり、大使館からその都度注意喚起を行っている。今後もデモ活動に注意していただきたい。

(大使館政務部書記官)

本日午前中に領事メールを発出させていただいたが、本日もオムニバス法に反対する労働団体及び学生団体による数千人規模のデモがモナスの南西角に位置する馬の像周辺で行われる予定。ジャカルタ中心部においては交通規制が予想されるため、外出の際はご注意願いたい。オムニバス法をめぐるデモ活動は当面は継続することが見込まれる。最近は、10月上旬に比べて整然とデモが実施されている傾向だが、いつデモが激化するかわからないため、デモには近づかないよう気を付けていただきたい。他方で、テロ、一般治安情勢については安定している。

### 2. 邦人に関わる最近の事件・事故報告

(大使館警備対策官)

この1か月間に邦人に関わる事件・事故の報告には接していない。先月より千人規模のデモが恒常的に開催されている状況であり、規模が大きくなればどのような者が紛れ込んでいるかわからず、デモが激化する可能性もあるため、デモには近づかないようお願いする。また、デモ活動はジャカルタだけでなく、バンドン、ブカシ等の地方都市においても発生しており、ジャカルタからこれらの地域に移動される際にもご注意いただきたい。

### 3. 新型コロナウイルスをめぐる状況

(大使館医務官)

最近は、新規感染者数の減少傾向及び快復者数の増加傾向が見られ、現時点で感染している者の数は減ってきている。先月の連休期間に人の移動が増加したことに伴う感染者の増加を懸念していたが、ジャカルタから感染が持ち出され、地方で感染者が増えてきている様子。どこかのタイミングで地方からジャカル

々に感染が逆流してくる可能性がある。

医療機関における空床状況は、以前に比べて病床数はひっ迫していない印象だが、病院側から情報を入手することが困難になっている。邦人の感染者については、現在までに重症患者は発生しておらず、死亡した方も把握していない。

新型コロナウイルス患者の緊急移送について先月確認したところ、移送自体は不可能ではないというのが現状。ただし、インドネシア国内の手續及び受入国の手續に非常に時間と労力を要する。さらに、緊急移送が可能となったとしても、専用機を使用するため、費用が非常に高額となり、どのような患者を移送するのか判断が必要。

#### 4. 各社からの状況報告

##### (企業からの報告)

グループ内において直近1か月にローカルスタッフ10名の感染者が出た。日本人社員に濃厚接触者は増えているものの、現在までに感染者はいない。感染者についても重症患者はおらず、操業に影響は出ていない。他方で、多数の無症状患者が報告されており、感染予防に苦心している。三密を避けるための措置を強化して対応している。

##### (企業からの報告)

グループ全体でローカルスタッフ数名が感染したが、日本人社員の感染事例は報告なし。オペレーションも通常どおり行っている。

##### (企業からの報告)

関係会社を含めて複数の感染者が出ているが、操業に支障は出ていない。

##### (航空会社からの報告)

全45名の社員に感染者は出ていない。今朝のJL720便(ジャカルタ発、東京行)について、イスラム団体指導者の海外からの帰国を歓迎する支持者がスカルノ・ハッタ空港に多数集まったことの影響を受けて、同便の搭乗時間に間に合わなかった乗客の方が多数いらっしゃったと承知している。今夜のJL726便を中心に代替え便の案内をさせて頂いている。

##### (航空会社からの報告)(注:当日欠席のため後日報告を記載)

駐在員(帯同家族含む)・現地スタッフ約50名の中で、感染者が発生した事例はない。10月末に外部機関への出向者が1名インドネシア入りし、現在2週間の自主隔離中。本10日のイスラム指導者帰国に伴う空港周辺の騒動の影響で一部社員の空港事務所出勤に影響あり。運航便がなかったこともあり、利用客への影響はなし。

##### (企業からの報告)

東ジャワに工場が所在しており、現在までに合計で19名の陽性患者が報告さ

れている。このうち2名が現在も自宅隔離中で、重症患者は出ていない。来月から、健康診断等のために駐在員の一時帰国を開始する予定。

(企業からの報告)

警備員の中に若干名の無症状の感染者が出ており、自宅隔離としている。日本人社員については、現時点で感染者が出ていない。オペレーション自体は問題なく行っている。

各工業団地においてオムニバス法をめぐるデモが発生しているが、混乱はなく、各企業がデモに十分対応している。

(企業からの報告)

社内で若干名の感染者が出ているが、規則に則って対応している。日本人社員については、改めて一時帰国を開始している。

(企業からの報告)

インドネシア人スタッフに数名の感染者が出ているが、いずれも軽症又は無症状。10月は感染者の報告がなかった。日本人社員は感染者なし。

(企業からの報告)

過去1か月にローカルスタッフに2～3名の感染者が出て、感染者数は累計5名になった。重症者はいない。日本人社員に感染者はいない。新規の赴任者については予定どおり進めている。

(企業からの報告)

日本人社員に感染者無し。現在、ローカルスタッフ7名が治療中、オペレーションに大きな影響は出ていない。

(企業からの報告)

複数の事業所でローカルスタッフ数名の感染者が出ており、濃厚接触者を検査したところ新たな感染者が見つかった事例もあった。駐在員に感染者は出ていない。

(企業からの報告)

従業員に感染者は出ていない。

(企業からの報告)

ローカルスタッフ数名に感染者が出ているが、日本人社員に感染者は出ていない。駐在員については、当地の医療機関の状況を踏まえ、一時退避していた全ての社員が戻ってくることとなった。

(企業からの報告)

グループ会社全体で200名を超える社員に陽性の検査結果が出たが、現時点ではほぼ全員が快復し、オペレーションに影響はない。

(企業からの報告)

東ジャワの事業会社で多数の感染者が出ていたが、隔離を行っており、オペレ

ーションに影響は出ていない。日本人社員に感染者はいない。

(企業からの報告)

ローカルスタッフの中で毎月数名の感染者が発生しているが、極力在宅勤務としており、二次感染はなく業務に影響はない。健康診断を兼ねた一時帰国を休暇ベースで取得している。

(企業からの報告)

事業会社において十数名の感染者が発生したが、日本人社員に感染者はいない。

(企業からの報告)

ローカルスタッフに数名の感染者が出ているが、日本人社員に感染者はなし。長期駐在していた派遣員について、健康診断等のために一時帰国を進めている状況。

(団体からの報告)

現在、スタッフに感染者なし。在宅勤務と事務所勤務を組み合わせで運営を行っている。大規模社会制限の緩和に伴い、事務所に併設しているライブラリーを10月中旬から再開した。先週末からは、週末の開館も再開した。直近1か月に、入居しているテナント内で複数の感染者が出たが、適切に対応されており、オペレーションに問題はない。

(JICA)

ローカルスタッフ、日本人スタッフいずれも感染者は出ていない。

(JETRO)

ローカルスタッフ、日本人スタッフいずれもここ3か月あまり感染者は出ていない。日本人駐在員については、健康診断を含めた日本への一時帰国を交代で進めている。

(国際交流基金)

日本人、ローカルスタッフ含めて感染者は出ていない。現在、日本人派遣職員5名、調整員2名がジャカルタで勤務している。他の日本人職員は3月から変わらず日本に退避している状況で、戻ってくる目途はたっていない。

(ジャカルタ日本人学校)

現在感染者はいない。学校が所在する南タンゲラン市が「オレンジ・ゾーン」とされており、オンライン授業を継続している。11月の第3週にシミュレーション登校の実施を予定しており、感染予防対策の徹底を図っていく。

次回海安協は12月8日(火)に開催予定。